



毎月5日発行

Monthly

情報掲示板

第52号

社会保険労務士法人 **MAC**
税理士法人 望月会計

TEL : 0263-34-4488 FAX : 0263-34-0054 <http://www.sharou-mac.com/index>

高年齢期の

「働く意欲」と「活躍の場」

高年齢期における働く意欲

厚生労働省が「第6回 中高年者縦断調査」の結果を発表し、60～64歳の人のうち、5割超の人が「65歳以降も仕事を続けたい」と考えていることがわかりました。

また、70歳以降でも3割近くの人が仕事をしたいと望んでおり、働く意欲は高年齢期となってもかなり高いようです。

働く目的は、「年金以外に収入が必要である」、「健康を維持したい」、「社会とのつながりを求めたい」など多様になっています。

「中高年者縦断調査」とは？

この調査は、毎年同じ人を追跡し、「健康」「就業」「社会活動」などの変化の過程について継続的に調査するもので、2005年11月に第1回目を実施されました。

今回は、50代をどのように過ごせば高年齢期に充実した生活を営むことができるか、特に団塊世代を含む60歳以上(60～64歳)の男女に焦点を当て

て、就業意識、就業実態、健康状態について分析しています。

実際に収入を伴う仕事をしているか

また、株式会社インテージでは、「団塊世代の男性のライフスタイル」に関する調査を実施しました。62～64歳の団塊世代の男性800名が回答しています。

まず、団塊世代の男性に現在の就業状況を尋ねたところ、下記の通りの結果となっており、収入を伴う仕事をしている人は61.0%で、そのうち約8割の人が「週に4～5日以上働いている」こととなっています。

- (1)働いていない...39.0%
- (2)働いている(ほぼ毎日)...27.1%
- (3)働いている(週に4～5日)...22.1%
- (4)働いている(週に2～3日)...8.1%
- (5)働いている(週に1日程度)...1.8%
- (6)働いている(それ以下)...1.9%

活躍する「場」の提供

健康で働く意欲が高い高年齢者に対して「活躍の場」を提供することは、少子高齢化により労働力不足が進行しつつある日本にとって、ますます重要になってくるでしょう。